

今 づ 津 日 赤 だ よ り



表紙写真 院内ティケアの作品「手作りの鯉のぼり」

基本理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

基本方針

1. 地域医療
地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。
2. 全人的医療
病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。
3. 医療と福祉の架け橋
医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。

TOPICS

事務部長よりごあいさつ	1
新任職員紹介	2
障害者病棟(1病棟)の役割	3
地域医療連携室より	
リハビリについて	4
新入職員紹介	5
連携病院リレー紹介(白十字病院)	6



日本赤十字社

今津赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

事務部長よりごあいさつ

新年度が始まり、当院もフレッシュな仲間を向かえ新たな新年度をスタートさせております。希望にあふれるスタッフをむかえることは大変うれしく、また多くの人生を預かる緊張もあります。新人職員に向けて日本赤十字社の理想とする人道・博愛の理念のもと、病院の基本理念である「私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います」並びに病院の基本方針3項目「①地域医療②全人的医療③医療と福祉の架け橋」と赤十字社の歴史・使命・事業など、当院の地域医療に係わる赤十字人としての自覚・認識を深めてもらう研修を行う時期でもあります。改めて新年度を迎えるにあたり、当院の地域医療での役割として昨年作成しました「公的医療機関等2025プラン」における当院の病床機能を紹介させて頂きます。

まず、福岡・糸島医療圏の地域医療におきまして不足が見込まれる回復期病床として、地域の診療所との連携を基に、地域包括ケア病床(30床)をフルに活用し、自宅・介護施設等からの患者様を受入れてまいります。障害者病棟(60床)におきましては、在宅・急性期病院・介護施設等における患者様で、長期療養が必要となった重度の障害者並びに神経難病等の患者様の受け入れ行います。更に、神経難病等の短期間のレスパイト入院も積極的に受け入れし、地域の在宅医療を支援いたします。

超高齢化社会に向け、今後増加が見込まれる認知症疾患への対応として、もの忘れ相談窓口の支援に始まり、もの忘れ外来受診・重度認知症デイケアへ繋いでいき、病状の進行により入院が必要となった際には、認知症専門病棟(60床)への入院で対応します。さらに入院後も院内デイケア等のリハビリを実施し、再度在宅医療へと繋ぐ取組みを行い、また行政が推進している認知症サポーター養成講座等も開催し、多くの職員が認知症サポーターとなっております。

慢性期病棟(30床)につきましては、現在、医療療養病床(16床)と介護療養病床(14床)を併設しております。また地域の在宅医療を支援するため機能強化型訪問看護ステーションと居宅介護支援事業も併設し、訪問看護は24時間対応で福岡市西区・糸島地区の在宅医療を支援して参ります。

赤十字病院として災害時の救護活動は使命であります、いつ、どこで発生するかわからない災害に対応すべく医師・看護師を含む救護員6名体制を2個班常時編成しており災害救護活動に備えております。これからも公的医療機関である赤十字病院としての使命を忘れず、地域の皆様・高齢者の方々が住み慣れた地域で暮らし続けられるために職員一同支援してまいります。



事務部長
やま ぐち ひで お
山 口 秀 夫

●新任職員紹介●

内科 医師

まつ お み な
松尾実奈



この度、4月から今津赤十字病院に赴任しました松尾実奈と申します。

生活習慣病、とくに糖尿病の診断・治療を専門としています。糖尿病は静かに進行していく病気で合併症との闘いです。

良好な血糖コントロールは糖尿病合併症(網膜症・腎症・神経障害)の発症・進展に重要なため、食事などの栄養面を含め、患者様の考え方や生き方を尊重し、サポートすることを大切にしています。

内科全般に関しては自分が受けたいと思う医療を患者様に提供し、苦しみや痛みのわかる医師であるよう患者様に寄り添った医療を心がけています。どうぞよろしくお願ひします。

精神科 医師

つじ ま り こ
辻真里子



4月より赴任してまいりました、精神科の辻と申します。昨年度までは佐賀の肥前精神医療センターに勤務しておりました。

今津赤十字病院の精神科では主に認知症の方の診療をさせていただいておりますが、様々な病期の方がおられ、生活史も様々です。それぞれの方に敬意を持って接し、毎日をできるだけ穏やかに過ごせるように、個々人に合わせた治療をできればと思っています。ご高齢で身体的な疾患も持たれている方が多く、内科の先生方とも連携して治療をしていきたいと思っています。

微力ではありますが、少しでも皆様のお力になれればと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

医事課長兼医療社会事業課長

つじ ち せい
辻智生



4月から今津赤十字病院で勤務しております辻智生と申します。

以前は日赤福岡県支部、看護大学、病院等で勤務しており、久しぶりの病院勤務となりました。

今津赤十字病院は認知症を初めとする高齢者医療に力を入れています。

今後も、医療や介護サービスの需要が増える2025年に向けて、当院の多機能型地域病院としての特性を生かし、地域でさらに必要とされる病院になれるように、また地域の皆様方に少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

障害者病棟(1病棟)の役割

1病棟看護師
いい もり み ゆ き
飯盛 美由紀

当病棟は60床を有する障害者病棟で、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの神経難病の患者様が多く入院されています。

看護スタッフは看護師32名、看護助手3名で20代から50代と年齢、性別、経験も様々ですが、それぞれの「強み」を活かし、患者様の療養を24時



間体制で支援させていただいている。難病の患者様の中には、言葉でのコミュニケーションが難しい方、口から食事を摂ることが難しい方、自分自身の力では、呼吸が出来ず、人工呼吸を使って呼吸をしている方もいらっしゃいます。患者様の症状や生活状況に合わせて医師・看護師・リハビリ・ソーシャルワーカーなどのスタッフで相談し、「その人らしく生きていけるよう」患者様に寄り添って支援が出来ていければと考えています。また、在宅で過ごされている難病患者様の家族様の介護負担を軽減するために、数週間から数ヶ月のレスパイト入院も行っています。「おかえり」「ただいま」と言えるような「第二の我が家」となれるような関係を築いていけるようにスタッフ一同知識や技術の向上に取り組んでいます。

地域医療連携室より

当院は、神経難病や一定以上の障害をもたれる方等を対象とする、障害者病棟を有しております。この対象の方々は、その疾患や障害の特性上、重介護を必要とする方が多く、様々な在宅介護生活を支える介護保険サービス・障害者サービス等を利用し生活をされています。障害者病棟では、そういう方の中でも、特に日常的に医療ケアを必要とされる方をご支援しています。また、当院がかかわりつけの患者様だけでなく、ご自宅で生活されている対象の方は、地域のかかりつけ医の先生方との連携により、疾患治療の為の入院や、在宅介護生活の安定の為のレスパイト入院のご相談をいただけます。

様々な神経難病や障害により、生活上の不安をお持ちの方がおられましたら、是非お気軽に地域医療連携室 障害者病棟担当までご相談下さい。当院での専門的な知識や経験が、患者様と御家族の安心できる生活の一助となれましたら幸いです。



地域医療連携室
医療ソーシャルワーカー
こうじようへい
郷司陽平

リハビリについて



作業療法士

なが いし しゅう た ろう

永石周太郎

言語聴覚士

さか もと ゆ か

坂本結香

1病棟では、神経難病(パーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症等)の患者様にリハビリを実施しております。

当病棟は長期療養の方が多く、それぞれの病状に合わせた身体機能の維持や改善、コミュニケーション方法の提案・獲得に取り組んでいます。必要に応じて自宅へ訪問し、家屋の状況や生活スタイルなどを把握することで、ご家族様と医療スタッフ(医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーなど)で相談して、患者様に合った生活環境へのアドバイスも行っています。また、介護負担軽減のためのレスパイト入院を利用されている患者様も多く、訪問看護や訪問リハビリなどの在宅部門との連携を行ない、ご家族様に在宅生活で困っていることや介護に関するアドバイスをしていき、その人らしい生活が継続できるようにお手伝いをさせていただきます。



1病棟リハビリスタッフ

理学療法

患者様の病状や体を動かす能力に合わせて、寝返りや立ち上がり、歩くなどの基本的な動作練習を行なっています。日常生活動作に対する工夫として、適切な補装具や車椅子等の福祉機器の提供やクッションなどを用いた安楽な姿勢調整(ポジショニング)を行っています。また、筋力の低下や関節が硬くなってしまうことを予防するために車椅子への離床を積極的に行なうようにしています。



作業療法

トイレ動作や食事動作、更衣動作などの日常生活動作や生活の質の低下の予防、改善を目的としています。日常生活を送る上で必要な動作を練習することに加え、病室内などの生活環境の調整や、補助具・自助具などの提案を行ない身の回りのことを少しでも自分で行えるようにするお手伝いをしています。1病棟は、長期療養の患者様が多いため、興味のある作業活動や楽しめる作業活動を行ない、充実した療養生活を送れるようなお手伝いも行なっています。



言語聴覚療法

食事に関しては、継続的に嚥下の評価を行ないつつ、必要に応じて嚥下造影検査を実施します。評価の結果をふまえ、誤嚥をしないように食べやすい食事の形態や安全な食事姿勢の調整を行い、食べる楽しみがより長く得られるようにお手伝いさせて頂きます。また、ことばでのコミュニケーションが難しくなった患者様に対し、コミュニケーション機器の提案・指導を行い、病状の進行に合わせ患者様が使いやすいように、適宜設定を行なわせて頂きます。



新入職員紹介

1病棟の八木克久です。
まだまだはじめてのことばかりですが、頑張りたいです。
よろしくお願ひいたします。



1病棟 看護師

や ぎ かつ ひさ
八木克久

入職してから1ヶ月が経ち、だんだん病棟にも慣れてきました。これからもたくさんご迷惑をおかけすると 思いますが一所懸命頑張るのでよろしくお願ひします。

1病棟 看護師

え さき もも か
江崎萌香

2病棟に配属になりました中村結衣と申します。高校時代より人との関わりを持つ職業に憧れ、看護師を目指すようになりました。これから日々勉強を重ね患者様の言葉だから気持ちを読み取るのではなく、表情や行動などから、患者様を理解できる広い視野を持った看護師になりたいと思います。そして、患者様に安心していただけるような笑顔で看護をしていきたいです。
よろしくお願ひいたします。



2病棟 看護師

なか むら ゆ い
中村結衣

3病棟に配属になりました國廣ひとみと申します。知人の影響で看護に魅力を感じ看護師を目指しました。これから沢山学び素敵な看護師になれるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。

3病棟 看護師

くに ひろ
國廣ひとみ

平成30年度より、放射線部にて勤務しています中島です。
今まで大学で学んできたことを基礎に、臨床でしか学べないことを吸収して技師としてもスキルアップを目指していきたいと思います。



放射線技師

なか しま やす ひろ
中島靖博

はじめまして。4月より入社いたしました、検査室で働いています狩浦萌乃です。仕事上ではまだまだわからないことが多く、皆さまにご迷惑をかけることもあると思いますが精一杯頑張っていきますのでこれからよろしくお願ひいたします。

検査技術課

かり うら もえ の
狩浦萌乃

連携病院リレー紹介

当院では、さまざまな医療機関との連携を大切にしています。このコーナーでは、リレー方式で各医療機関の方に登場していただき、連携について語っていただきます。第4回目は白十字病院です。

社会医療法人財団白十字会 白十字病院(福岡市西区石丸)

ふちの やすひで
病院長 渕野 泰秀 先生

"タスキ"を繋ぐ地域医療連携

2006年に職場内の“親睦とストレス発散”という目的のもとに始めた白十字駅伝大会。これまで12回開催しました。第1回大会の参加は16チームで、すべて白十字病院院内で部署別に結成されたチームでした。2017年の第12回大会参加チームは28チームで、そのうち白十字病院、当法人関連施設以外に地域の医療機関から10チームが参加して頂きました。

競技会場は今津運動公園です。1チームは8人編成で一人が2.3kmを走ります。これまで開催された12回の大会で延べ295チームが出場したので、出走選手は延べ2,360名となります。この全員の選手がタスキを繋いで、全てのチームがゴールしています。タスキを“つなぐ”駅伝。一人でも抜けるとゴール(完走)できません。全てのチーム、全てのタスキが様々な思いを繋いでゴールできたことはすばらしいことです。これぞ“絆(きずな)”です！



日本で生まれた“エキデン”。走ってタスキを繋いで多くの思いを味わうことができます。出走前の不安と緊張感、走っている時の心臓が千切れるような苦しみ、しかし最後まで走ってタスキを繋がなくてはいけないという責任感、タスキを渡した時の達成感、そしてチームが完走した時の喜びと連帯感と称え合い。汗を流した爽快感。タスキを繋いで感じること、わかることが沢山あります。そんな沢山の思いをみんなで共有できることができ、さらにチームの“絆”を深くしてくれました。

今津赤十字病院チームにはこれまで3回出場して頂きました。2013年(第8回大会)は22チーム出場中2位、2015年(第10回大会)は30チーム出場中5位、2016年(第11回大会)は31チーム出場中3位とすばらしい成績を残しています。

地域医療連携も“エキデン”と同じです。“地域の絆”(チームワーク)で成り立ちます。駅伝のタスキに思いを繋ぐように、患者さんへの思いを繋いでチームとして患者さんを支えています。地域包括ケアの時代、行政一病院一診療所一介護一福祉一在宅が同じ思いを持ってタスキを繋ぐ“絆”(連携)を育んでいきましょう。

「地いき、いきいき」健やか、よかまち
～地域の健康を育み、安全・安心を支える Life Space～

[病院新築移転構想](#)



診療案内

- * 診療科目 内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
 - * 受付時間 (月曜日～金曜日)午前8時30分～午前12時00分及び午後1時30分～午後4時30分
 - * 休診日 土曜・日曜・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
- ※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

今津赤十字病院 外来診療担当表

平成30年4月1日から

診療科目		月	火	水	木	金	土	日
内科	午前	初診	森・松尾	森 佐保	富田 祐亮	九大腎臓内科	松尾 実奈	
		再診	尾前 豪	藤井 弘二	福大神経内科	藤井 弘二 (生活習慣病)	藤井 弘二	
					尾前 豪	松尾 実奈	森 佐保	
					古瀬 正徳			
精神科 (認知症外来)	午後(初診及び再診)	古瀬 正徳	松尾 実奈	富田 祐亮	九大腎臓内科	尾前・古瀬		
	午前	(予約制) 初診		応相談			桑野 信貴	
		再診	田中 和宏	勝治 一夫	辻 真里子	勝治 一夫	古賀 勝治	
	午後 初診(予約制)	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	辻 真里子	古賀 勝治
		辻 真里子	辻 真里子	畠部 暢三				

病院へのアクセス



JRでのアクセス

- * JR九大学研都市駅下車の場合
JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。
(下記時刻表を参照ください)

- * JR今宿駅下車の場合
昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩約10分

お車でのアクセス

西九州自動車道今宿ICより約10分



送迎バスのご案内

JR九大学研都市駅南口前より、送迎バスを運行しておりますので、お気軽にご利用ください。

便	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便	第9便	第10便
病院→JR九大学研都市駅南口前	8:55	9:35	10:15	10:55	11:35	12:15	12:55	13:35	14:15	14:45
JR九大学研都市駅南口前→病院	9:15	9:55	10:35	11:15	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:00
運行日	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	—	○	○	○	○	—	—	○	—